

社会的事象の見方・考え方を働かせ、多角的に考える児童の育成

－視点や方法を明確にした単元指導計画の作成と資料提示・発問の工夫を通して－

【教科・領域】社会 第4学年 わたしたちの群馬県

令和元年度 前橋特別研修研究員
前橋市立白川小学校 三好 雄大

【児童の実態】

- 資料のどこに着目したらよいか、課題解決のために必要な情報は何か分からない。
- 複数の事象にどのような関わりやつながりがあるかを考える力が十分ではない。

【指導上の課題】

- 単元全体を見通し、どのような視点や方法で課題を追究させたり考察させたりするのかを明確にできていないため、説明の多い授業になっている。

【手立て1】視点・方法を明確にした単元指導計画の作成

社会的事象の見方・考え方

社会的事象を

位置や空間的な広がり
＜視点の例＞
位置、分布、範囲、地域、地形、自然条件など

時期や時間の経過
＜視点の例＞
時代、起源、由来、変化、発展、継承など

事象や人々の相互関係
＜視点の例＞
工夫、努力、つながり、連携、関わり、協力、影響など

に着目して捉え、

社会的事象の様子や仕組み、意味を

比較・分類

総合

関連付け

して考える

これまでの単元指導計画

① 視点や方法 ② 資料 ③ 発問 ④ 児童の考え

位置や広がりに着目させたいな...
副読本のどの資料を使ったらいいかな？どんな発問が...？

① 交通の広がり
○県内の交通網の特色をつかむ。
(個別)
○県の交通網の特色を市町村の位置や地形との関連から考える。(ペア)
○県の交通網の特色をまとめる。
(個別、一斉)

② 県内の交通は、どのように広がっているのだろうか。
・高崎市には、交通網が集まっていることをとらえさせる。
・高崎市を中心に東西、南北に交通網が主な市をつなぐように広がっていることを理解できるようにする。
・交通網は、山間部より平野部の方が細かく整備されていることに気づかせる。
・高速道路や新幹線は県外へもつながっていることに気づかせ、他県との関わりにも目を向けさせる。

③ 県の交通網の特色を、地形や市町村、産業との関連から考える。
・高崎市を中心に東西、南北に交通網が主な市をつなぐように広がっていることを理解できるようにする。
・交通網は、山間部より平野部の方が細かく整備されていることに気づかせる。
・高速道路や新幹線は県外へもつながっていることに気づかせ、他県との関わりにも目を向けさせる。

④ 県の交通網の特色をまとめる。
(個別、一斉)

作成した単元指導計画

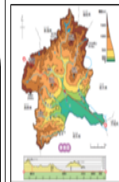
① 県の交通網の特色を市町村の位置や地形との関連から考える。(ペア)
比較、関連づけく交通網と地形、市町村、産業>
発問「交通網がどのように広がっているのはなぜでしょうか。地形などとの関係があるのでしょうか。」

いることに気づかせる。
・高速道路や新幹線は県外へもつながっていることに気づかせ、他県との関わりにも目を向けさせる。

③



② 交通網が集まっているのは高崎市のあたりだ。県内の市を結ぶように伸びているね。



④ 土地が低い地域に道路や鉄道が細かく通っているよ。土地が低い南東は工業も盛んだったね。

③ 県の交通網の特色をまとめる。
(個別、一斉)

高崎市・前橋市のあたりを中心に東西、南北に人口の多い市を結ぶように広がっている。また、土地が低い地域に細かく通されている。

【手立て2】資料提示・発問の工夫

位置や空間的な広がり

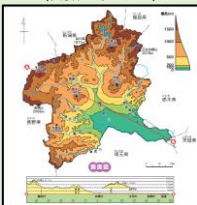
どこに、どのように広がっているか

発問①

群馬県の交通網はどこにどのように広がっているのでしょうか。



地形図
(副読本P.80)



市町村地図
(副読本P.86)



工業の盛んな市・町
(前時に作成)



交通網図
(副読本P.88)



- ・新幹線や高速道路は県の中央を南北に通っているよ。
- ・高速道路は東西にも伸びているね。
- ・南東は、細かく国道や鉄道が通っています。

比較 関連付け

そのような特色が見られるのはなぜだろうか

発問②

交通網がどのように広がっているのはなぜでしょうか。これまで学習してきた地形などとの関係があるのでしょうか。



土地の高さと関係がありそうだな...



資料を重ね合わせられるように、縮尺をそろえ、トレーシングペーパーに印刷した地図資料を児童一人一人に配付した。



交通網は土地が低くて平らで人口の多い南東にたくさんあって、土地が高いところにはあまりない。工業が盛んな南東に交通網がたくさんあるのは、作った物を運ぶ必要があるから。

【成果】

- 児童は視点を基に資料を読み取ったり、事象の相互の関連を考えたりすることができるようになった。
- 児童の発言や気づきを基に、ねらいにせまる授業ができるようになった。

【課題】

- 資料提示や発問の工夫を継続して行い、社会的事象の見方・考え方を働かせる指導の充実を図る。
- より効果的な資料作成や資料提示をしたり、ICT機器の活用を進めたりする。